

鹿児島県特産品協会だより

Vol.
6 6

～令和6年度通常総会・第2回理事会開催～

6月11日、令和6年度通常総会及び第2回理事会を開催し、令和5年度事業実績及び決算承認と令和6年度事業計画及び予算の報告を行いました。

通常総会では、令和5年度の事業実績及び決算など議題3件が承認されたほか、令和6年度の事業計画について報告を行いました。

開催にあたり、塩田理事長より「全国での物産観光展や『かごしまの新特産品コンクール』の開催、『かごしま特産品ねっと「かごいる」』等による商品喚起の取組みに加え、鹿児島ブランドショップについては、今年8月に「よかど鹿児島」本館2階に移転することから、引き続き「南の宝箱鹿児島」にふさわしい豊かな食や伝統的工芸品などの魅力をしっかりと国内外に発信し、本県産業の「稼ぐ力」の向上を図って参ります」と挨拶がありました。

また総会終了後には、平成18年から約19年にわたり理事として当協会運営にお力添えいただいた黒川理事の退任に伴う特産品振興功労者表彰式を行いました。

今年度も全国主要百貨店での物産観光展や輸出商談会、かごしまの新特産品コンクールの開催などあらゆる機会を捉えて、会員の皆様方とともに魅力ある本県特産品の振興を図ってまいりたいと考えておりますので、より一層の御支援・御協力、ご提言をお願い申し上げます。



塩田理事長による開会挨拶



黒川前理事による退任挨拶

大丸福岡天神店「第3回南の宝箱 鹿児島展」開催！

九州の一大消費地である福岡市にある大丸福岡天神店において、本県特産品の宣伝・紹介及び販路拡大、本県イメージアップによる交流人口の増加等を促進するため、本県特産品や観光情報等を総合的にPRする「第3回南の宝箱 鹿児島展」（4月3日～8日）を開催しました。（食品57社出展）

初日には、オープニングセレモニーやマスコミ向けのお披露目会、副知事によるトップセールス等を行ったことで新聞やテレビで取り上げられ、また、SNS等の活用により、福岡県内の消費者に向け、本県並びに鹿児島展を大いにPRしました。

今回は、県のキャッチコピーである「南の宝箱 鹿児島」をテーマとし、「和牛日本一」となった鹿児島県産和牛を幅広く宣伝・販売するため、その場で食べれる「鹿児島黒牛丼」「サーロイン弁当」の販売や、生産量・産出額で日本一の県産品を幅広く紹介しました。

また、鹿児島を拠点に全国区で活躍するクラフト・アート作家等の作品をはじめとした商品を展示・販売する「beacon market @ FUKUOKA」「鹿児島クラフト×ハンドメイドマルシェ」を同時開催（初開催）し、今回は、アパレル、プロダクト、ライフスタイル雑貨、食品まで「衣・食・住」の様々なジャンルの出展者が一堂に揃ったことで、これまでにない鹿児島の魅力と新発見に繋がるアイテムを発信し、商品の訴求効果が非常に高い企画となりました。

来場者からは、「茶屋・弁当の「日本一の黒毛和牛・黒豚・鰻」「養殖日本一のかんぱち寿司」など会場内で調理された鹿児島の日本一の食材を食べられるとあって、それぞれの味を楽しめた」「鹿児島は食材の宝庫だけあって素材がよく美味しい」などと好印象や興味・関心を持ったお客様の来場もあり、また、百貨店からは「鹿児島の食材を活かした展開と「南の宝箱 鹿児島」に沿ったことで鹿児島の隅々まで幅広く紹介できた」「初企画「鹿児島のクラフト」展開は、これまでに無い取り組みとなり、福岡県一円の方々に新しい鹿児島をPRできた」「会期後のリピート購入に繋がった」など、新たな鹿児島ファンの獲得につながりました。



第3回南の宝箱 鹿児島展
会場風景



beacon market

「花と器のハーモニー2024」への展示協力について

横浜山手西洋館 花と器のハーモニー実行委員会が主催して開催している「第22回花と器のハーモニー2024」が「Rediscovery～世界のアーティスト×日本の器～」をテーマに、日本で活躍している外国人フラワーアーティスト等による花のおもてなしと、伝統ある日本各地の器を使用した装飾を展開し、「Rediscovery(再発見)」をコンセプトに日本を再発見するという内容で6月1日～9日まで7つの館で開催されました。(外交官の家入館者数：10,845名、7館合計：75,577名)

今回、同イベントの食器監修をされている今田功氏(前テーブルウェア・フェスティバル エグゼクティブプロデューサー)のご提案により、オランダ人のフラワーアーティストのドリーン・ローリン氏がセレクトした荒木陶窯・ファクトリー17・溪山窯南州工房・御茶碗屋つきの虫・美の匠ガラス工房弟子丸の5社の器を使用し、「Flower Power Wave」のテーマのもと外交官の家にて花と器のコーディネートを披露いただきました。器や部屋の特徴を活かした手づくりの花器を使用したアレンジメントで調和がとれており、多くの来館者からは、「外交官の家が一番良かった」「こころの豊かさをもらって帰ります」などの感想があり、鹿児島島の器の魅力を楽しんでいただきました。今後も様々な機会を活用し、本県工芸品の情報発信に取組めます。



フラワーアレンジメントとコラボした本県の工芸品

鹿児島純心女子短期大学学生が「薩摩錫器」について学びました

当協会では、本県特産品に対する理解と認識を深めてもらうため、大学生を対象に伝統的工芸品の作り手から歴史・技法・特徴などについて学ぶ「特産品研修会」を実施しております。

今回は、講師に(有)岩切美巧堂の岩切洋一氏をお招きし、鹿児島純心女子短期大学の学生8名を対象に県指定伝統的工芸品である「薩摩錫器」の歴史や製法・特徴のほか、手仕事の強みを活かして、有名自動車メーカーと協働した商品開発・取組み事例などについて、実際の工具や写真を交えながらご講話いただきました。(6月13日(木)開催)

学生からは「国内・国外観光客の販売割合」や「モノ作りのやりがい」「職人としての心構え」「今後のインバウンド対策」などの質問があるなど、幅広く興味を持っていただきました。

当協会では引き続き、伝統工芸品への理解と認識を深めるとともに、若い感性を活かしたモノづくりを支援して参ります。



岩切氏による薩摩錫器の歴史や手仕事等についての講義



学生による製造体験

鹿児島ブランドショップ移転に伴う今後の展望

現在、当協会が入居する鹿児島県産業会館は、昭和42年の竣工後、約57年が経過して建物の老朽化が著しいことから、ブランドショップ鹿児島店は、今年8月1日に鹿児島銀行本店ビル(よかど鹿児島)2階へ移転・リニューアルオープンします。

今後移転先では、オープニングセレモニーの開催や集客に繋げるための定期的なイベント開催、キャッシュレス化に対応した販売など、商業施設を有効活用した新たな特産品のPR・観光情報発信の場としての活動を行う予定としております。

また昨今のクルーズ船や海外航空路線再開に伴い、本県でもインバウンドが増加傾向にありますので、案内表示やPOP等の英語、中国語表記、また免税店機能の必要性など、今後インバウンド対策の強化等にも取り組んでいきたいと考えております。

今後、この好立地を有効活用したアンテナショップ機能の強化、更なる特産品振興を図って参りますので、会員皆様のご協力のほどよろしくお願いいたします。

～かごしま遊楽館 鹿児島ブランドショップ東京店情報～
「かごしま遊楽館誕生29周年祭」 「かごしまねアンテナショップ誕生祭2024」を開催

かごしま遊楽館では、「かごしま遊楽館誕生29周年祭」にあわせ島根県のアンテナショップとの共催で「かごしまねアンテナショップ誕生祭2024」（6月1日～2日）を開催しました。

「かごしまねアンテナショップ誕生祭」は、令和2年5月29日に島根県のアンテナショップ「日比谷しまね館」が日比谷に移転し、かごしま遊楽館の開館日と立地が近いことなどから、鹿児島県と島根県の特産品や観光PRを通じて、双方のアンテナショップとしての機能性・認知度向上を図るコラボ企画として継続開催しております。

今年は両県アンテナショップにて往復航空券や黒豚しゃぶしゃぶセットなど豪華賞品が当たる抽選会やご当地パンなどの特別限定販売、キッチンカーによる両県和牛の共演を実施し、来館者からも「一堂に2県の魅力を発見できた」などの声があり、大いに賑わいました。

また、かごしま遊楽館では、1階さつまいもの館は限定お楽しみ福袋の販売、2階遊食豚彩いちにいさんは、誕生祭限定ランチ、焼酎飲み比べセットの販売、3階ブランドショップ東京店は、JR九州新幹線一部開業&肥薩おれんじ鉄道20周年記念イベントとしてグッズ販売や制服着用体験などを実施し、参加した親子連れなどに楽しんでいただきました。（誕生祭には約400名が東京店来店）

東京店では、今後もこのようなイベント等を開催し、皆様と一緒に本県特産品をPRして参りますので、首都圏での特産品販売・PRをご検討の方は、是非、ご相談ください。



誕生祭会場と
ブランドショップ東京店



JR九州新幹線記念
イベントに参加した親子

特産振興支援員奮闘記

伝統的工芸品を令和へ継ぐ取り組み

特産振興支援員 工芸品担当 脇田 守



この度、4月1日より、工芸品部門を担当いたします脇田と申します。

前職は、鹿児島県庁に昭和52年から約45年勤め、最後は昨年開催された国体・全国障害者スポーツ大会局でした。一般行政事務の職務で県政一般を広く学ぶことができました。

今回伝統的工芸品に係る業務は、一からの勉強となりますが、生産者の方々のお話をじっくり聞かせていただき、微力ではありますが、伝統的工芸品振興のお手伝いできればと思っていますので、よろしくお願ひします。

さて、表題の令和へ継ぐ取り組みにつきましては、勉強の取り掛かりは、飯田正毅先生の「薩摩の伝統工芸」（春苑堂出版）を読むことからです。

鹿児島県の伝統的工芸品の歴史は、島津藩の歴史に重なりますが、現状としましては、生活様式の変化や天然原材料の減少などにより産地は厳しい状況に直面していることはご存じのとおりです。未来へのアプローチとしましては、まず後継者育成のための若者への啓発とされています。伝統工芸品は日本の文化遺産として重要な存在ですが、新しい世代にも魅力的な存在として伝えることがより大切です。また、伝統工芸品は、その土地の歴史や文化と深く結びついていますので、地域と連携し、地域振興や観光資源としての活用を進めることで存続を支えることができるはずです。

次に、最も重要な需要の創出については、近年、伝統的技法を守りながら、現代のライフスタイルに合った商品開発、異業種やデザイナーとのコラボレーションでヒットしているものが見られます。飯田先生が、伝統はかたくなに固まらせずに流動し、変化するものとして、過去の形骸としてではなく、現在の基礎として取り組んではと、期待しておられました。技術力の高さを活かし、新しい分野へのチャレンジや最先端技術との融合を図ることで、産業の未来を切り拓き人的資源の不足に対処していけるのではないかと感じたところです。

1. (公社)鹿児島県特産品協会 移転のお知らせ

(公社)鹿児島県特産品協会では、事務所及び鹿児島ブランドショップを(株)鹿児島銀行本店ビル(よかど鹿児島)2階へ移転することとなりました。移転後の連絡先および事務所・ブランドショップ移転時期等につきましては、下記のとおりとなりますので、ご来訪等の際は十分、ご留意ください。

- ・新住所 鹿児島市金生町6番6号 よかど鹿児島 本店ビル2階
- ・新連絡先 TEL: 099-223-9177
FAX: 099-227-0768
- ・事務所移転日 令和6年7月16日(火)
※移転作業に伴い、7月12日(金)～15日(月)は、業務を休止させていただきます。
- ・ブランドショップオープン日 令和6年8月1日(木)
※移転作業に伴い、7月9日(火)～31日(水)は、ブランドショップを休業します。

2. (株)山形屋「第15回 南の宝箱 鹿児島ふるさと物産展」開催告知

県内における人・モノ・情報の交流促進並びに県産品振興を図り、県内特産品や観光情報等を総合的に紹介するため、県のPRキャッチコピーである「南の宝箱 鹿児島」をテーマに標記物産展を開催いたします。

今回は、県内約20市町村から食品・工芸品製造企業が約40社以上出展し、「ふるさと物産展」第15回の開催を記念した「特別企画品」や「山形屋限定品」などもご提案して会場を盛り上げたいと考えておりますので、是非、地元鹿児島の特産品をお楽しみください。

【会期】 令和6年8月16日(金)～21日(水) 6日間
【会場】 (株)山形屋 6階大催場 ほか

3. 「かごしま伝統の技」伝承事業 「かごしまの手仕事学校」開催告知

小学生とその保護者等を対象として、製造体験や職人との交流を通じて、本県伝統的工芸品の理解と認識を深めてもらうため、マルヤガーデンズにて「かごしまの手仕事学校」を開催します。

今回は、国指定の伝統的工芸品である「本場大島紬」「川辺仏壇」「薩摩焼」の製作体験を始め、「本場大島紬」の着付体験や初企画として「大漁旗」の技法を使用したトートバッグの顔料色付体験実施いたします。7月6日(土)11時からマルヤガーデンズHP内特設サイトにて体験者を募集いたしますので、下記URLよりお申込みください。

【会期】 令和6年8月9日(金)～11日(日・祝)10:30～14:45
【会場】 マルヤガーデンズ 4階ユナイトメントガーデン ほか
【URL】 <https://www.maruya-gardens.com/kg2024/>



4. 特産振興支援員をご活用ください

当協会では、企業の新商品開発や既存商品のブラッシュアップなどの様々なお悩みを解決するため、食品担当・工芸品担当の特産振興支援員が常駐しております。

お電話でのご相談はもちろん、出張相談、セミナー講師、コンクール等の審査員としても派遣(無料)を行っており、今後もお電話・メール等での相談も受け付けておりますので、当協会ブランド支援センターへお気軽にお問合せください。

<お問合せ先>
(公社)鹿児島県特産品協会 ブランド支援センター TEL: 099-239-3981
(食品担当: 海老原 涼子、工芸品担当: 脇田 守)